

ASK ニュース

2016年4月18日(月)
担当：MS事業部 三宮

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル1F
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

I o Tとは

はじめに

近年、盛んにI o Tという言葉が飛び交っていますが、このI o Tとはどういうことなのでしょう。ご存じでしょうか。少し見ていきましょう。

I o Tとは何か

I o Tとは、Internet of Things (モノのインターネット) の略語で、センサーを組み込まれたモノがインターネットによってつながるようになったことを言います。

今まで、インターネットを使ったデバイスは存在していましたが、スマートフォンの登場でこの普及が加速しています。

例えば、光の変化をセンサーによって検出し、電気信号に変える防犯照明などが、インターネットを介すことによって自宅のスマートフォンやパソコンで不審者を映像で見ることが可能となったことが挙げられます。

I o T戦略

先進国のI o Tの戦略的な取り組みとして、ドイツやアメリカが国家としてこれに取り組んでいます。ドイツでは、「インダストリー4.0」、アメリカでは「インダストリアル・インターネット」がその代表です。

「インダストリー4.0」では、I o Tを使って製造業のさらなる効率化によって、ドイツ国内製

造業の国際競争力を強化及び生産技術で世界の工場を席卷することを狙っています。

対して「インダストリアル・インターネット」では、製造業での戦略ではなく、I o Tを活用した遠隔監視やアフターサービス領域で新たな付加価値の創出を図ることを主目的としています。

アメリカのGEは、製品販売からこのI o Tを活用してデータ解析をし、効率化を約束し、効率化サービスを提供して稼ぐというビジネスモデルに劇的にチェンジさせました。

日本企業の例

このI o Tを使った日本企業の事例として、コマツやクボタが画期的です。

コマツは、車両システムにGPS、通信システムが装備され、保守管理や車両管理などの業務をサポートしています。

また、クボタでは、ケーサスといった田植え機にセンサーと通信機能を搭載し、作業記録を管理できるサービスを展開しました。

おわりに

このようにインターネットの登場により劇的に我々の生活は進化しました。そして、スマートフォンといった端末が登場することによってその裾野が劇的に広がりました。

我々会計業界もクラウド会計に代表されるように、フィンテックが叫ばれるようになりました。

時代に柔軟に対応できなければ新しい価値の創造はできないのではないのでしょうか。